

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-33	小学校	家庭	家庭	5・6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	501	新しい家庭 5・6		

1. 編修の基本方針

—— 豊かな学びが未来を拓く ——

家庭科はあなたの生活をよりよく変えていく教科です。

「家庭科室の前を通るとおいしそうなおいがするね」「どんなことをするのか」—子供たちは5年生になって初めて出会う教科、家庭科にわくわくしています。

少子高齢化や絶え間ない技術革新等により、子供を取り巻く生活環境は大きく変化し、家庭生活に関わるさまざまな問題が見出されるなか、子供たちは主体的に、また協力して問題を解決していく力を身に付けることが重要です。

本教科書は、家庭科の学習を通して子供たちが生活していく楽しさを実感し、力強く未来を拓くための資質・能力を育成することを目指して編修しました。

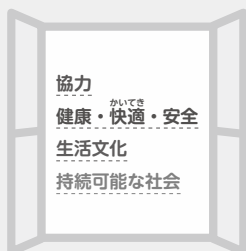
特色

1

生活をよりよく
変えていく力が
身に付きます

家庭科の見方・考え方を家庭科の窓で表現しました。窓から生活をのぞくと、自分の生活をよりよく変えていくための考えがうかびます。

生活を変えていく楽しさを知り、もっと学びたくなります。



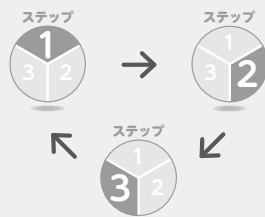
家庭科の窓

特色

2

問題解決的な学習が
3ステップで
展開できます

「1 見つめよう」→「2 計画しよう・実践しよう」→「3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで全ての大題材を展開しています。3ステップをくり返すことで、どのように学ぶのかを身に付け、**実生活に活用できる力を育成**します。



特色

3

実践的・体験的に
楽しく学びながら、
生活の自立を目指します

それぞれの題材で行うたくさんの実習や活動で、何ができるようになるのか、**見通しをもって楽しく学習**できます。

「できた!」という達成感と自己肯定感が生活の自立につながります。



一緒に学ぶキャラクター

特色

1

生活をよりよく変えていく力が身に付きます

1 一目で分かる家庭科の見方・考え方

小学校家庭科の見方・考え方（協力、健康・快適・安全、生活文化、持続可能な社会）を「**家庭科の窓**」として設定し、生活についてこれらの視点で考えられるように工夫しています。大題材のスタートで主な見方・考え方が一目でわかります。

また、見方・考え方のひとつである生活文化の大切さについては、「日本の伝統」マークとともに紹介し、児童が生活の中にある日本の文化の大切さに気付くように工夫しています。

まど
家庭科の窓

見方 考え方

あなたは生活をどのようなものにしたいですか。

家庭科の窓には、生活を見つめるときの見方や考え方が示されています。家庭科の窓から生活を見つめると、今まで気づかなかった生活の様子が分かるようになります。

あなたの生活への思いや願いをたくさん思いうかべてみましょう。

協力
健康・快適・安全
生活文化
持続可能な社会

家庭科の窓から生活を見つめよう

協力	家族や地域の人々と協力して生活しているかな？
健康・快適・安全	健康や快適、安全に気をつけているかな？
生活文化	日本の生活文化を大切にしているかな？
持続可能な社会	環境に配慮し、豊かな未来をつくれそうかな？

(▲ p.4 見方・考え方の説明)

1
私の生活、大発見！

主に、協力の視点で考えよう

🔗 リンク p.4 家庭科の窓

私たちは、毎日をどのように過ごしているのでしょうか。自分と家族の生活を見つめ、家族の一員として進んで家庭生活に関わっていきましょう。

(▲ p.6)

日本の伝統 (湯の温度)

資料1 いろいろなお茶と湯の温度

● せん茶 80℃前後	● 番茶 100℃
● 玄米茶 100℃	● ほうじ茶 100℃

茶の若葉から作ったお茶。日本茶としてよく飲まれている。

せん茶をつみとった後のかたい茶葉で作ったお茶。

せん茶に、いった米を混ぜたお茶。

せん茶や番茶をいってこぼしにしたお茶。

(▲ p.12)

日本の伝統 **どんな音があるだろう**

日本では、昔から生活の中を大切に生きてきました。夏は風鈴や鈴虫の鳴き声、水の音など、すずしく感じる音を生活に取り入れています。ほかの季節の音も探してみましょう。

🔗 リンク p.124

地域によって聞こえてくる音も異なるよ。

(▲ p.89)

特色

2

問題解決的な学習が3ステップで展開できます

1 全大題材が問題解決の流れ（ステップ1～3）で展開

ステップ① 課題発見の小題材「1見つめよう」

生活の中の課題を発見する小題材です。大きな写真やイラストを掲載し、イメージがふくらみやすいようにしました。

ステップ② 課題解決の小題材「2計画しよう・実践しよう」

課題を解決するために、実際に実習（計画→実践）などを通して基礎的・基本的な知識・技能を習得します。

ステップ③ 学習を深める小題材

「3生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」

知ったことやできるようになったことをまとめ、話し合ったり発表したりしながら、これからの家庭生活に生かしていきます。

このステップの活動「**深めよう**」では、主体的・対話的で深い学びにつながる活動を行い、学習内容が確実に身に付くようにしています。

学習の流れ

これら、ステップ1～3の流れで学習を展開します。各小題材が学習の中心となるように工夫されています。また、学習の進捗や理解度を把握し、必要に応じて学習を深めたり、振り返りを行います。

ステップ1
課題発見

見つめよう
課題を見つけよう
学習の進捗を確認しよう

ステップ2
課題解決・実践活動

計画しよう・実践しよう
考えよう、できるよになるよう
課題を解決しよう

ステップ3
学習を深める

生活に生かそう・新しい課題を見つけよう
活動を振り返り、改善しよう
新しい課題を見つけよう

4

(▲ p.4-5)

活動6 深めよう

- 調理実習をふり振り返り、おいしいご飯やみそ汁の作り方のポイントを話し合ってみよう。
- ①を参考に、「わが家のとっておきのみそ汁」を考えよう。おいしく作るポイントを家族と話し合い、その結果を周りの人と紹介しよう。

家族の好みを聞いて、地域の伝統を調べよう。

家庭によって、みそやだしの種類がちが

わが家のとっておきのみそ汁を考えよう

5年1組 鈴木ゆうま

タイトル
おばあさんが好きなたまねぎと地元でとれたじゃがいもを使ったみそ汁

だし かつお節
みそ 米みそ
みそ汁の具 おろしたたまねぎ、じゃがいも

(▲ p.48)

② 生活を変えるチャンス！

学習したことを生かして、家庭や地域の生活の課題解決のための実践を「生活を変えるチャンス！」として、5箇所(p.31, 61, 95, 115, 128)に設定し、学校や地域の実態に応じて取り組めるようにしました。実践例はレポートや新聞などさまざまなまとめ方で紹介しています。主に長期休暇などに児童が行った課題解決の実践について発表し、クラスで共有できるようになっています。

生活を変えるチャンス! ②

学んできたことを生かして、生活よりよく変えるチャンスです。自分の課題を見つけ、家族や地域の人の心算けながら、計画を立てて取り組みましょう。p.4の「実践例」の4つの視点(協力、健康・保護、安全、生活文化、清掃(整理))から自分なると、生活よりよくする工夫の考え方がかかっています。

【生活を変えるチャンス! ②】(p.61) を参考に実施しましょう。

実践の進め方

- 1 課題の設定
- 2 計画
- 3 家庭・地域で実践
- 4 まとめ・発表
- 5 評価・改善

実践の例

「わが家のエココップンを立てよう/年末そうじ大作戦」

実践の目的: 家族で協力し、お掃除の大切さを学び、お掃除の楽しさを伝える。

実践の過程: 1. 課題の設定 (お掃除の大切さを学ぶ)、2. 計画 (お掃除の日を決める)、3. 家庭・地域で実践 (お掃除の日に行う)、4. まとめ・発表 (お掃除の楽しさを伝える)、5. 評価・改善 (お掃除の楽しさを伝える)

生活を変えるチャンス! ③

学んできたことを生かして、生活よりよく変えるチャンスです。自分の課題を見つけ、家族や地域の人の心算けながら、計画を立てて取り組みましょう。p.4の「実践例」の4つの視点(協力、健康・保護、安全、生活文化、清掃(整理))から自分なると、生活よりよくする工夫の考え方がかかっています。

【生活を変えるチャンス! ③】(p.95) を参考に実施しましょう。

実践の進め方

- 1 課題の設定
- 2 計画
- 3 家庭・地域で実践
- 4 まとめ・発表
- 5 評価・改善

実践の例

「家族のまくらカバーを作ろう」

実践の目的: 家族のまくらカバーを作ることで、家族の健康を気にかけ、家族の絆を深める。

実践の過程: 1. 課題の設定 (家族のまくらカバーを作る)、2. 計画 (家族のまくらカバーを作る)、3. 家庭・地域で実践 (家族のまくらカバーを作る)、4. まとめ・発表 (家族のまくらカバーを作る)、5. 評価・改善 (家族のまくらカバーを作る)

レポート、新聞、スクラップブックなど、さまざまな表現形式を紹介しています。

(▲p.61 実践の進め方) (▲p.61 年末そうじ大作戦 レポート) (▲p.95 家族のまくらカバーを作ろう 新聞)

特色

3

実践的・体験的に楽しく学びながら、生活の自立を目指します

① 意欲が高まる取り組みやすい実習題材

実習題材は、児童の発達段階に十分配慮し、イラストや写真を多く使った「作りたい!」「使いたい!」「おいしい!」という達成感、「使いたい!」「おいしい!」という楽しさを重視しました。また、**基礎的・基本的な知識・技能が身に付く題材**を開発し、掲載しました。実習の後には **できたかな?** で振り返ることで達成感と次の学習への意欲が高まります。

実習は大きな紙面を効果的に活用した、横の流れのデザインで、学習の見通しをもって学習に取り組めます。

(▲p.18-19)

② 必要なときにいつでも基礎・基本の確認「いつも確かめよう」

「いつも確かめよう」では、基礎的・基本的な知識や技能の大切なポイントをまとめました。巻末の拡大版では、初めて実習道具に触れるときの不安感を解消し、安全に実習をするため、**実物大の作業場面の写真を豊富に掲載**しました。実習前に紙面に手を載せて練習ができます。**左利きの写真も大きく掲載**しました。

必要なときにいつでも確認でき、基礎・基本の確実な習得に役立ちます。

(▲p.132)

(▲p.135)

3

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
全体	家庭科のガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> 全学習項目で問題解決的な学習が行える構成(1 見つけよう→2 計画しよう・実践しよう→3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう)にしました。(第1号) 学習をふり返って自分の成長を実感できる「成長の記録」を掲載しました。(第2号) 	p.4-5 ほか全体 p.3
各大題材	生活を変えるチャンス!	<ul style="list-style-type: none"> 長期休暇の前は、生活の課題解決に取り組む「生活を変えるチャンス!」を設けました。(第2号) 	p.31, 61, 95, 115, 128
	実習題材	<ul style="list-style-type: none"> 達成感を感じられるように、取り組みやすい実習題材を多数採用しました。(第2号) 	p.18, 20, 28, 42, 44, 68, 70, 82, 84, 100, 102, 112 ほか
	プロに聞く!	<ul style="list-style-type: none"> 働いている人を特集した「プロに聞く!」を掲載しました。(第2号) 	p.12, 22, 38, 48, 49, 94, 105, 111, 114, 121, 123
	活動	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動として、作品を友達同士で評価したり、話し合いながら課題を解決したりする場面を設けました。(第3号) 	p.7, 15, 22, 24, 30, 33, 48, 51, 60, 87, 94, 117, 121 ほか
	地域とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人々との関わりを大切にし、自らが地域の一員であることに気づき、感謝することの大切さが分かるようにしました。(第3号) 地域の一員として、自分にできることを考えられる資料を紹介しました。(第3号) 	p.122-127 p.127, 128
	環境	<ul style="list-style-type: none"> 「環境」マーク  を掲載し、環境に配慮した生活について考える場面を設けました。(第4号) 	p.15, 20, 21, 28, 55, 68, 92 ほか
	日本の伝統	<ul style="list-style-type: none"> 「日本の伝統」マーク  を掲載し、日本茶、ご飯、みそ汁、伝統食品、郷土料理、てぬぐいなどを特集しました。(第5号) 	p.12, 42, 44, 48, 49, 57, 63, 141 ほか
地域の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災で被災した福島県の児童が地域復興に取り組んだ事例を掲載しました。(第5号) 	p.126	

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① すべての児童が使いやすい紙面への配慮

①ユニバーサルデザイン (UD)

- 字体は、独自に開発した UD 教科書体を採用しました。この UD 教科書体は、従来の教科書体に比べてさらに太くするとともに、視認性をいっそう向上させています。
- 色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っています。
- 軽くて丈夫な紙を開発し、児童が教科書を持ち運ぶ際の負担軽減に配慮しました。

②特別支援教育への配慮

- すべての大題材の導入にステップ1～3のタイトルを並べて示し、学習の見通しが立てやすいように工夫しています。
- 初めての実習が安心して安全に行えるように、基礎技能の巻末資料には、手を載せて練習できる実物大写真を掲載しています。

2 今日の課題への取り組み

③ご指導経験の浅い先生方への配慮

- 実習例には、おさえるべきポイントを児童に投げかける吹き出しを使って強調しています。(例：p.26のキャラクターの吹き出しほか)。

④カリキュラム・マネジメント

- 5年生と6年生で関連する内容をできるだけ同時期に配置して、複式の年間指導計画を立てやすいように配慮しました(例：巻頭目次)。
- 15の大題材をユニット型で示して、学校や地域に応じたカリキュラムに組み替えやすいようにしています。

⑤道徳教育との関連

- 他教科との関連を示すマークで、道徳教育と関連する内容も示し、児童の意識が高まるよう配慮しています。(例：p.74, 122ほか)

⑥防災教育への取り組み

- 日頃の生活から防災に向けて気を付ける内容を「日々の備え」という囲みで示しています。(例：p.30, 43ほか)

⑦安全教育への取り組み

- 実習を安全に行うため、必要な箇所には全て「安全」マークを付けて、注意できるようにしています。(例：p.11, 14, 18ほか)。
- 食物アレルギーについては、関連する本文や図で取り上げ、食品や表示を確認するよう促しています。(例：p.15, 110ほか)
- 巻末の折り込みに「安全に実習しよう」という特集を収載して、基礎技能の習得と安全指導を徹底しています。

⑧食育への対応

- ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」の特徴について取り上げたり、食事のマナー、日本の伝統的な郷土料理を取り上げたりしています。(p.23, 40, 141ほか)

⑩環境教育への取り組み

- 家庭科の見方・考え方の一つである「持続可能な社会の構築」を消費者教育と合わせて一つの大題材として大きく扱いました。また、全ての大題材の必要な箇所に「環境」マークを掲載し、ESDの視点にもつながるよう配慮しています。(p.32-39)

⑨キャリア教育への対応

- コラム「プロに聞く」では、家庭科に関連する職業の人へのインタビュー記事を掲載し、仕事や生活への興味が高まるように工夫しています。(p.12, 22, 38, 48, 49, 94ほか)

⑩情報教育・ICT活用への対応

- ICT機器の活用を促す吹き出しや活用場面をイラストなどで示しています(例：p.54, 115, 117ほか)。
- 調理や製作に関する無料のデジタルコンテンツを豊富に用意しました。コンテンツが用意されている箇所にはDマークを配しています。p.5にはマークの意味とコンテンツへのアクセス方法を説明するとともに、コンテンツへのQRコード、URLを掲載しました。*デジタルコンテンツを使用する際の通信費は自己負担となります。
- 情報モラルの観点からデジタルコンテンツを使用する際の留意事項(使用する際には、まず教師や保護者に相談すること)を明示しました。



green tea



3 その他の取り組み

⑪中学校技術・家庭 家庭分野、他教科との関連

- 中学校家庭分野、他教科と関連する内容にはマークを付け、関連付けて学習できるように配慮しています。
- 小学校英語と関連して、家庭科に関係のある英単語を脚注に掲載し、次ページに日本語訳を示しています。(例：p.7, 9, 11ほか)

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-33	小学校	家庭	家庭	5・6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2東書	501	新しい家庭5・6		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1

生活をよりよく変えていく力が身に付きます

新学習指導要領では、生活の営みに係る見方・考え方(協力・協働*, 健康・快適・安全, 生活文化, 持続可能な社会)を働かせて、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の育成を目指しています(*小学校家庭では主に協力)。

紙面構成を刷新して、効果的に学習できるよう工夫しています。

The diagram shows a page from a textbook titled '5 食べて元気! ご飯とみそ汁'. It features a central image of a meal with a bowl of rice, miso soup, and other dishes. Surrounding this are various text boxes and icons. Callouts point to specific elements: 'リード文' (Lead text) points to the top text; '家庭科の窓 (見方・考え方)' (Home Economics Window) points to a box in the top right; '学習の流れ' (Learning Flow) points to a vertical sidebar on the left; 'めあて' (Objective) points to a box in the middle right; 'ふり返ろう' (Let's reflect) points to a box in the bottom right. A note at the bottom right says '(p.40 紙面の構成要素)'.

① 家庭科の見方・考え方「家庭科の窓」を設定しています

- ①家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として設定し、そこから生活を見つめて、自分の生活の課題を発見し、解決することができるように工夫しています。
- ②全ての大題材のタイトル横に主な見方・考え方を示し、大切な視点が一目で分かるようになっています。

② 導入のリード文と学習の流れで 学習の見通しが立てられます

- ①大題材の導入のリード文の投げかけを考えると、児童はその大題材を学ぶ意義、学びのゴール(よりよい生活)を想定して学習に取り組むことができます。

③ 学年の最後には「まとめ」が設定されています

- ①5年生, 6年生の最後には、そこまで学んできた内容の「まとめ」のページを設定しました。学習のふり返りに活用できます。
- ②学習して分かるようになったことをチェックしたり、生活で工夫していることを文章で書いたりすることによって、次への学習意欲が高まります。それぞれステップごとに「めあて」と「ふり返ろう」を設定しています。

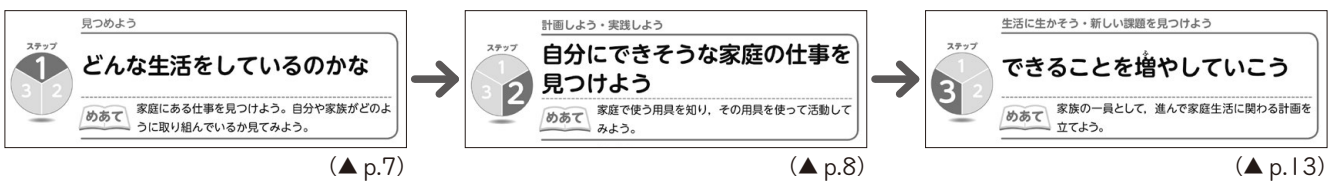
The diagram shows a page titled '5年生のまとめ' (5th Grade Summary). It features a central graphic with a path leading through various icons representing different learning stages and activities. Text boxes around the path contain reflective questions and prompts for students to write about their learning and life improvements. A note at the bottom right says '(p.73 5年生のまとめ)'.

問題解決的な学習が3ステップで展開できます

家庭科の学習では、問題解決的な学習を取り入れて、生活の課題を解決する力を養うことが大切です。そのため、全ての大題材を「1 見つめよう」→「2 計画しよう・実践しよう」→「3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の、3つのステップで展開しています。

1 すべての大題材を3ステップで展開しています

- ①教科書の最初のページには、4年生までの学習を踏まえ、2年間の学習の見通しをもたせるためのガイダンスのページを掲載しています。ここで、家庭科の学習の進め方(ステップ1→2→3の流れ)を紹介しています。
- ②問題解決的な学習が身に付き、実生活に役立てることができるよう、すべての大題材を3ステップで展開しています。



2 児童の主体的・対話的で深い学びにつながる活動を工夫しています

- ①「活動」は「やってみよう」「話し合おう」「調べよう」など、主体的・対話的に学習できるように工夫しています。話し合いのまとめの場面では思考ツールを活用するなどして、児童が見通しを持って活動できるようになっています。
- ②全てのステップ3に「活動 深めよう」を設定し、既習事項を活用して、学びを深めることのできるようになっています。

(▲ p.7 活動 話し合おう)

(▲ p.104 活動 深めよう)

3 学びを生活に生かす「生活を変えるチャンス！」を設定しています

- ①新学習指導要領に新設された「家族・家庭生活についての課題と実践」では、学びを生活に生かして問題解決的に生活の課題に取り組むことが大切です。長期休業中に取り組みやすいように、学期末に今までの学習を生かしてできる取り組み例とまとめ方の例を複数掲載しました。
- ②「生活を変えるチャンス! ①」(p.31)は具体的な展開を丁寧に紹介し、学習の進め方の参考にもなります。また、全ての「生活を変えるチャンス!」に実践の進め方が示され、児童が家庭、地域で安心して取り組めるようになっています。

(▲ p.31 生活を変えるチャンス! ①)

特色
3

実践的・体験的に楽しく学びながら、 生活の自立を目指します

小学校の家庭科で、生活の自立への第一歩を踏み出すことで、中学校、高等学校へとつながっていきます。生活に必要な基礎・基本を確実に習得し、生活する楽しさとともに自立を目指していくことが重要と考え、**実践的・体験的に、そして楽しく学べる紙面**を工夫しています。

① だれもが学びやすく、基礎・基本が確実に習得できます

①実習題材は児童の発達段階に合わせて、取り組みやすい題材を、**イラストや写真を豊富**に使って展開しています。手順の中では、児童に考えてほしいポイントをキャラクターの吹き出しで示すとともに、おさえるべき基礎・基本の内容は **できたかな?** でチェックできるようにしています。また、ミシンの製作実習では、説明している部分のぬい目を太くして、児童に**取り組みやすく**しています。

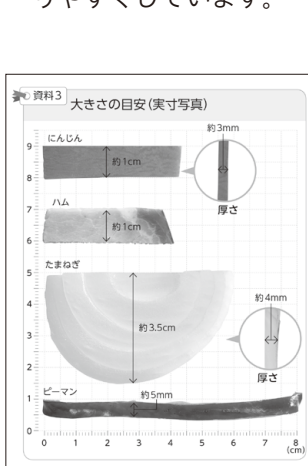


(◀p.44-45
みそ汁)



(◀p.69 エプロン
説明部分のぬい目
が太くなっている)

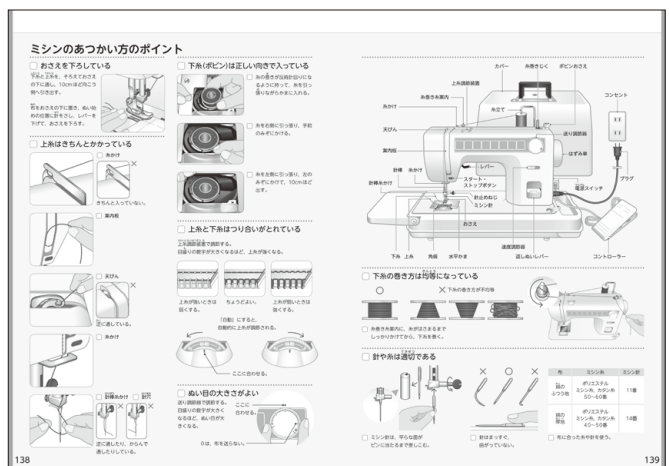
②生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を「いつも確かめよう」にまとめています。児童が必要なきにいつでも開いて確かめることができ、何度も確認することで、確実に習得できます。巻末の「いつも確かめよう」(p.130～141)では、児童が実際に手を置いて練習できる**実物大の写真**を掲載したり、児童が初めて触れることの多いミシンの扱い方について**大きなイラスト**で丁寧に説明したりしています。また、実習例にも**写真を多用**して、分かりやすくしています。



(▲p.83)



(▲p.133)



(▲p.138-139)

③内容に関連する言葉 **言葉** で説明することで、知識を習得できるようにしています。

言葉

お茶／お茶は、飲み物のお茶の意味のほか、「茶葉」「茶会」「ひと休み」などいろいろな意味がある。

green tea

11

(◀p.11 言葉)

② 「めあて」と「ふり返ろう」でステップごとに確認できます

①大題材を構成するステップ1～3の全てに **めあて** と **ふり返ろう** を設定し、児童が**確実にステップを踏んで学習が進められる**ようになっています。

観点別特色の一覧

<p>教育基本法の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」や、「日本でめぐいの特徴」など、児童が日本の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(全体) 家族や地域の人々との関わりを大切に、協力してよりよい生活を実現していくための力を養えるようにしました。(全体) 持続可能な社会の構築を消費者教育と合わせて一つの大題材として大きく取り上げることで、環境を大切にする態度を養えるようにしました。(p.32 – 39)
<p>学習指導要領の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小学校学習指導要領（家庭）に示された目標に則り、家庭科の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を行えるよう各大題材の最初に「家庭科の窓」を設置し、見方・考え方の視点を意識して学習が進められるようにしました。(全体) 小学校学習指導要領（総則）に示された、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を受けて、それらが実現できる活動を各所に収載しました。(全体)
<p>学びの系統性・連続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階に配慮し、実習題材を5年生と6年生に適切に配置しました。基礎的・基本的な知識や技能が別の題材でも生かされるように「いつも確かめよう」などで確認することができます。(全体, p.10, 17. 36, 54ほか) すべての大題材のタイトル横の定位置に家庭科の見方・考え方を示す「家庭科の窓」を設置し、学習するうえでの大切な視点が常に意識できるようにしました。(全体)
<p>組織・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4年生までの学習を踏まえ、2年間の家庭科の学習の見通しを立てられるよう、巻頭ページに目次とガイダンスを設置しました(表2, p.1 – 3)。さらにガイダンスには、4年生までの学習内容と5年生から始まる家庭科の学習との関わりを示しました。 5年生と6年生の最後に「まとめ」のページを設定し、学年間・中学校への接続がスムーズになるように配慮しました。(p.73, 129)
<p>基礎的・基本的な知識や技能の定着への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能の定着のため、学習の目標と評価を重視し、すべての小題材の始めに「学習のめあて」、終わりに「ふり返ろう」を設け、こまめに学習をふり返り、学習内容の定着が図られるようにしました。(全体) 家庭科の基礎・基本となる本文中の用語は、太字で目立つようにしています。(全体) 実習の最後の「できたかな」で知識・技能のポイントが自己評価できるように工夫しました。(p.11, 19, 21, 29, 45, 69ほか) 基礎的・基本的な技能をおさえるために身に付けたい技能は「いつも確かめよう」の囲みで示しました。単なる技能習得に終わらないように、実習とセットで扱い、実生活で生かせるように配慮しています。該当箇所だけでなく、開きやすい巻末にもまとめて示しています。(p.10, 28, 69, 130～141ほか)
<p>思考力・判断力・表現力の育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全ての大題材を3つのステップで展開し、問題解決的に進められるようにしています。くり返すことで定着し、実生活にも役立ちます。(全体) 小題材には「活動」を設置し、さまざまな学習活動を通して児童の思考力・判断力・表現力が育成されるように配慮しました。全ての大題材最後の活動には「活動 深めよう」を設定し、その大題材で学んだことを総合的に生活に生かせるようにしています。(全体)
<p>学び続けようとする態度の育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭折り込みや学年末に学習をふり返るページを設定し、できるようになったことが実感でき、学習意欲が高まるように工夫しています。(p.3, 73, 129ほか) 全ての大題材の導入では、大きなイラストや写真、活動で課題認識を高めます。また、学習の見通しが立てられるようリード文や学習の流れを示し、児童が意欲を持って学習を続けられるように配慮しました。(全体)
<p>学習方法・授業展開への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小題材に配置している活動の種類を「やってみよう」「調べよう」「話し合おう」などを適切に配置し、さまざまな活動に取り組めるように工夫しています。(全体) 本文に「話し合いましょう」「比べてみましょう」という投げかけを適度に入れ、具体的な学習方法が見えるように配慮しました。(全体)

教育のICT化に伴う取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 思考力伸長、知識・技能の定着のためのデジタルコンテンツを多数用意しました。実習中にくり返して活用でき、特別支援教育にも効果的です。(p.17, 18, 26, 27, 52 ほか) 制度化された学習者用デジタル教科書を発行予定です。
他教科、中学校との関連	<ul style="list-style-type: none"> 4年生までの学習をふくむ他教科の学習内容と家庭科の学習内容の関連、さらに、中学校技術・家庭との関連は、関連マークを付けて示しました(p.10, 41, 43, 56, 74 ほか)。また、小学校英語と関連して、家庭科に関係のある英単語とその日本語訳を脚注に掲載しました(p.7, 9 ほか)。
人権・福祉、特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 幼児や高齢者、障がいのある人、外国から来た人との関わりを通して、共生の視点に気付くことができるように配慮しました。(全体) さまざまな発達特性に配慮するため、本文と資料部分が明確に区別できるように、太い野線を使う、背景に色を付けるなどの工夫をしました。(全体)
ユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 新開発の「UD教科書体」を採用し、文字の視認性を格段に向上させました。(全体) 堅牢かつ軽量の紙を使用し、重量による身体的な負担の軽減に努めました。(全体) 拡大教科書を、文字のポイント別に複数種類発行いたします。(全体)

2. 対照表

配当学年	配当時数	大題材名	関連する主な内容			該当ページ	
			ステップ①	ステップ②	ステップ③		
5年生	1	家庭科の学習を始める前に	A(1)ア			表2, 1-5	
	3-5	1. 私の生活, 大発見!	A(2)ア	A(2)アイ B(2)ア(イ)	A(2)イ	7-14	
	5-7	2. おいしい楽しい調理の力	B(2)ア(ア)	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)	B(2)イ	15-23	
	8-10	3. ひと針に心をこめて	B(5)ア(イ)	B(4)ア(イ) B(5)ア(ア)(イ)	B(5)イ	24-30	
	2-4*	生活を変えるチャンス!①	A(4)ア			31	
	5-7	4. 持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方	C(1)ア(ア)	C(1)ア(ア)(イ)イ(2)ア	C(2)アイ	32-39	
	9-11	5. 食べて元気! ご飯とみそ汁	B(1)ア	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(オ) B(3)ア(ア)(イ)	B(2)イ	40-49	
	6-8	6. 物を生かして住みやすく	B(6)ア(イ)	B(6)ア(イ)イ	B(6)イ C(2)アイ	50-57	
	1-3	7. 気持ちがつながる 家族の時間	A(3)ア(ア)	A(3)ア(ア)イ	A(3)イ	58-60	
	2-4*	生活を変えるチャンス!②	A(4)ア			61	
	10-12	8. ミシンにトライ! 手作りで楽しい生活	B(5)ア(ア)(イ)	B(5)ア(ア)(イ)	B(5)イ	62-72	
	1	5年生のまとめ	A(1)ア			73	
			5年生: 計60時間	*5年生では生活を変えるチャンス!は①または②の1回の実践を想定している。			
6年生	1-3	9. 見つめてみよう 生活時間	A(2)ア	A(2)アイ	A(2)イ	74-78	
	9-11	10. 朝食から健康な1日の生活を	B(1)ア	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ) B(3)ア(ア)(イ)	B(2)イ	79-86	
	7-9	11. 夏をすずしくさわやかに	B(6)ア(ア)	B(4)ア(ア)(イ) B(6)ア(ア)	B(4)イ B(6)イ	87-94	
	2-4*	生活を変えるチャンス!③	A(4)ア			95	
	13-15	12. 思いを形にして 生活を豊かに	B(5)ア(ア)(イ)	B(5)ア(ア)(イ)イ	B(5)イ	96-105	
	9-11	13. まかせてね 今日の食事	B(3)ア(ウ)	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)イ C(1)ア(ア)(イ)イ C(2)アイ	B(1)イ B(3)イ C(2)イ	106-114	
	2-4*	生活を変えるチャンス!④	A(4)ア			115	
	4-6	14. 冬を明るく暖かく	B(6)ア(ア)	B(4)ア(ア) B(6)ア(ア)イ	B(4)イ B(6)イ	116-121	
	1-3	15. あなたは家庭や地域の宝物	A(3)ア(イ)	A(3)ア(イ)イ	A(3)イ	122-127	
	2-4*	生活を変えるチャンス!⑤	A(4)ア			128	
	1	2年間のまとめ	A(1)ア			129	
			6年生: 計55時間	*6年生では、生活を変えるチャンス!は③~⑤のうち、1回の実践を想定している。			
			巻末資料	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(5)ア(イ)			130-145

*配当時数は、各内容を扱う際の最小時数を下限、最大時数を上限としています。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-33	小学校	家庭	家庭	5・6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	501	新しい家庭 5・6		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
34	図 1 いろいろな買い物	1	家庭 C(1)物や金銭の使い方と買物ア	0.25 ページ
35	インターネットでの 取引に注意しよう	1	家庭 C(1)物や金銭の使い方と買物ア	0.25 ページ
92	洗剤の種類	1	家庭 B(4)衣服の着用と手入れア	0.25 ページ
合 計				0.75 ページ

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容